

## 巨大なピンクのガネーシャ

# ワット・サマーン・ラッタナーラーム(タイ)

お願いごとを叶えてくれる速さは他のお寺の三倍。  
子ども達がお寺に通ってくれるように、  
日本のアニメの人気キャラクターが勢ぞろい。

巨大なピンクのガネーシャ



お願いごとは、ネズミにこっそりと伝言

### 三倍のスピードで願いがかなうお寺

タイのチャチュンサオ県にワット・サマーン・ラッタナーラームというお寺があります。長い名前ですが「大きなピンクのガネーシャ」と言えば、皆が知っている大変有名なお寺です。

ガネーシャはヒンドゥー教の神様で、頭が象で体が人間という特徴的な姿が親しまれています。富や学問にご利益あることから、商人や学生に人気のある神様です。特にここのガネーシャは“お願いごとを叶えてくれるのがとても速い”と有名で、その速さは“他のお寺の三倍”とも言われているのです。

高さ22m、横幅は16mという超巨大なガネーシャ。枕を脇に抱えて、リラックスして寝転がっている珍しい姿です。小さな目に大きなお腹、しかも色がこのピンクですから、すごいインパクトで、今やインスタ映えスポットとしても人気を博しています。

お願いの仕方も特徴があって、このガネーシャに直接お願いするのではなく、近くにいるネズミからガネーシャに伝言してもらうのです。ネズミの耳にこっそりと、声もれないように伝えます。真剣なお願い事もあるのですが、微笑ましい姿になってしまいますね。

### 日本の人気アニメフィギュアが勢ぞろい

このお寺はガネーシャばかりが目立ちがちですが、実際に行ってみると、見どころ満載で、特に日本人は大喜びするでしょう。そこには、ドラえもん、ピカチュウ、ドラゴンボール、一休さんなど、日本



子供を喜ばすアイデアいっぱいの住職



ピカチュウと孫悟空はタイでも大人気



ジャイアンのコンサート会場

の人気アニメの等身大フィギュアが勢ぞろいしているのです。

どうしてお寺にアニメがいっぱいあるのか住職に聞いてみました。笑顔の素敵なども優しい住職です。

「日本のアニメはタイでもとても人気がありますからね。子供にお寺に来る習慣を身につけてもらうために置きました。タイの人は信仰が深いので、お寺に通うのは生活の一部です。こうした文化がなくならないように、子供向けに工夫したのです。

今や“子供が訪れる場所”のランキングで、このお寺はサイアムパラゴンデパートについて二位なんですよ。」

## タイ版の座敷わらし “ウマトーン”

更にお願いを叶えてくれるのはガネーシャだけではありません。人の背丈ほどの祠にも次々と参拝者が訪れています。

「そこにはウマトーンという子供の神様が祀ってあります。その昔、この辺りに住む人が赤いズボンをはいた子供の幽霊を見かけました。その人は『家がないのはかわいそうだ』と、その幽霊に祠を建ててあげたのです。するとその人はお金持ちになっ

たという言い伝えがあります。それからこの祠にはたくさんの人が訪れるようになったのです。」

日本で言えば、家の福の神、座敷わらしのような神様なのでしょう。“人に親切にしてあげれば、必ず自分に返ってくる”というタイがとても大切にしている考え方です。

——言い伝え通り、子供の神様もご利益があるんですか？

「それはお供えものの数を見ればわかるでしょう。これはウマトーンへのお礼に持ってこられたものです。毎日おもちゃとお菓子であふれていますよ」

帰り道、これからお寺へ遊びに行くという幼稚園児たちとすれ違いました。早くフィギュアを見たいのでみんな早足で、ニコニコ。このお寺に行く時間が大好きなのでしょう。



お寺に遊びに行く子ども達はみんな笑顔



お礼のお供え物があふれるウマトーンの祠

### 齋藤 浩司 (さいとう こうじ)

株式会社 B-WAY グループ 代表取締役

互助会から葬儀社を経て2001年同社創業。2002年に葬送支援NPO法人を創設。2010年には宗教法人を新規認証。CSR活動として、2007年お寺で余ったお供え物を困窮世帯へ届けるフードバンクを設立。2013年からは東南アジアの貧しい子ども達への生活・教育支援を開始し、現在はカンボジアのスラムで孤児院と幼稚園を運営。活動時に各国の聖地を訪れ、宗教家や現地の人々から文化を学んでいる。東京都新宿区出身。

